

校長室だより No.7

夏休みは挑む時間を大切に

2023年7月19日 柏市立土小学校 校長 梅津健志

明日の終業式で1学期が終わり、夏休みに入ります。1学期間に本校教育活動にお寄せいただきましたご理解とご協力に感謝を申し上げます。コミュニティ・スクールとして2年目に入り、地域の皆様、保護者の皆様が日常的に教育活動参加され、子供たちにとってより良い体験や学びの機会となっていることにお礼を申し上げます。

さて、明日からの夏休みは、是非「挑むこと」を大切にしたい時間を、子供たちに作っていただきたいと思えます。今日配付された夏休みのしおりに、宿題については一覧から1つ以上行うこと、と記されています。みなさんが子供の頃はどうか？夏休みのドリル帳、自由研究、読書感想文の3つは宿題だったのではないのでしょうか？やらなければならない宿題に苦しんだ記憶をお持ちの方も多いと思えます。

最近、宿題を選ぶようになっているのは、やらなくても良いということではありません。ちょっと難しそう、大変そうな課題を、自分で選んで決めて、最後まで取り組んでやり抜く、ということに力点が変わってきているのです。決められているから行うのではなく、自分で決めて自分で行うことが、大人になってからの力にもつながっているから、夏休みの宿題の出し方も変わってきています。

学校では、普段の授業では扱えない内容を今年度も面白チャレンジ教室として9日間12の教室を開設しますが、定員に対する参加率は60%程度と、もう少し参加して欲しかったという状況です。夏休みに入り、ご家庭で夏休みの宿題を選んだり、夏に何かの活動を話し合ったりする時間が、この週末にあるかと思えます。ぜひ、ちょっと背伸びをしたり、小さくジャンプをしたりすると届くくらいの目標を目指して取り組めるように、「挑むこと」がある活動について話し合っ決めていただきたいと思います。

小学生の頃は、多くの事柄が未知で、多くのことが「挑むこと」につながるものです。その時に多くの事に「挑み」失敗したり成功したりする経験が、小学校の卒業時以降の成長に大きな影響を与えてくるものだと感じています。親は失敗しないようにと整えがちですが、失敗も大きな学びです。何度か失敗しても成功に結び付けられるように、子供と一緒に楽しみながら取り組んでいただけるとよいなと思っています。

今年の夏休みも猛暑が続くことが予想されています。ゲームやディスプレイに向かってYouTube動画を視聴しながら、40日間が過ぎていくことは避け、何かに「挑む夏」にしていきたいと思います。学校の教員も2学期以降の授業に「挑む夏」として、充電して子供たちのパワーに備えていきます。